みんなの健康ラジオ

『精神障がい者のリカバリーを考える

～社会機能の回復と人生の選択肢を広げるために～』

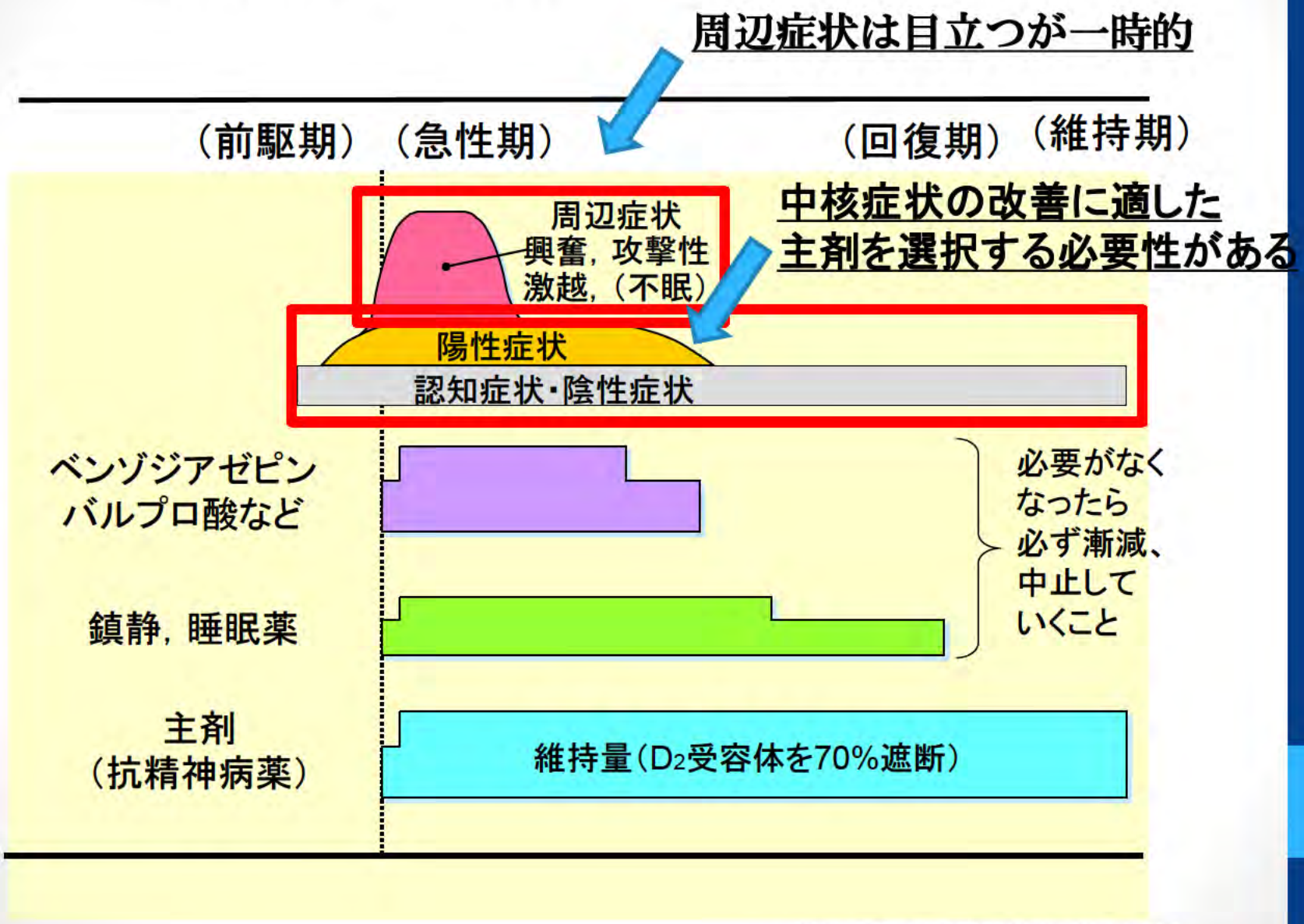
（2019年12月5日放送）

横浜市精神科医会

医療法人誠心会　あさひの丘病院

福島端・渡邊妙

統合失調症の薬物療法
（Recoveryを達成するためには･･･）



提供：東京女子医科大学　大下 隆司

ドパミンD2受容体　パーシャルアゴニストの意義

≪パーシャルアゴニスト≫

固有活性のために、報酬系ドパミン機能が保持され、「意欲」や「楽しい」「何かをやりたい」を維持させる。

社会復帰の妨げになりにくいため，Recoveryを
目指す上で望ましい、と言われている。

≪アンタゴニスト≫

アンタゴニストでは、ドパミン機能が抑制される。

リカバリーを目指した統合失調症の薬物療法とは

- 継続可能であること
  - 第二世代抗精神病薬
  - 非鎮静系の薬物を使用
  - 体重増加、食欲増進、高プロラクチン血症など副作用が少ない
  - 持続効果性注射剤（LAI）
  - 1日1回投与の薬
  - 貼り薬
- 生活の質（QOL）を改善できること
  - 認知機能障害の改善
  - 陰性症状の改善

渡邊衡一郎：臨床精神薬理 21（9）：1189-1197, 2018より引用